

令和6年6月17日

令和 5 年度 指定管理施設の管理運営状況(年間)モニタリング評価表

1 施設概要

施設の名称	浦添市立若草児童センター
指定管理者名	株式会社オフィスハート
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日

2 利用状況

利用月	利用者目標数	利用者数	利用率%
4月～9月	4,568	4,697	102.82
10月～3月	5,868	5,137	87.54
合計	10,436	9,834	190

3 収支の状況

	予算額	実績額	差額
収入			
指定管理料	15,210,431	15,210,431	0
利用料金	20,000	9,950	10,050
受取利息	0	0	0
収入合計(A)	15,230,431	15,220,381	10,050
支出			
人件費	11,765,000	12,112,256	-347,256
外部委託費	1,975,000	1,442,282	532,718
その他経費	1,470,431	1,424,438	45,993
支出合計(B)	15,210,431	14,978,976	231,455
収支合計(A)-B)	—	241,405	—

4 精算額

241,405 円

5 自主事業

事業名	内容	利用者数
木育推進事業	乳幼児には木のおもちゃを、年齢が大きくなると、木のおもちゃと木のゲームやパズル、ワークショップの企画などを、年齢別に、木のものに触れる機会を提供している。情緒の安定に効果がある点のエビデンスを取りながら進めて行きたい計画。また、浦添市ファミリーサポーターの利用があり、有意義な施設活用が広がっている。(任せて会員とお願い会員が、若草児童センターで待ち合わせてサポートを依頼)	9834
木育推進 KAPLAの日	昨年に引き続き、月に1回、「KAPLAの日」を実施している。KAPLAならではの木の匂いや音、重さなど、五感を刺激し、作品を作る楽しさ、考える力を養っている。	500
子ども食堂(若草子ども食堂)	2020年の賞味期限間近のマジックライス活用から始まった食事支援は、毎週30食の弁当配食(3センターで150食を作る)まで支援の要望があり、実施している。	1,808
若草農園事業	昨年度に引き続き、センター横の畑を整備し、農園活動を行った。 子ども達と土の耕しから苗植え、水やり、収穫まで取り組んでおり、収穫した野菜は、土曜日の昼食支援に活用したり、一緒に活動してくれたこどもたちに配布している。	1,404
アクアリスト水槽展示事業	館内に海水槽を設置し、沖縄美ら海水族館の方からのアドバイスを受けながら、海の生き物(魚、貝、イソギンチャク、ソフトコーラル)を子ども達と飼育し、生態、命の大切さを伝えている。(2021年からの継続)	1,404
生き物育成事業	児童センターにきたウサギを飼育し、利用児童が可愛がり、餌や水をあげ、掃除などを行い、命に触れる教育を引き続き行っている。	1,404
図書の日	毎月第3土曜日を「図書の日」とし、普段遊んでいるおもちゃの貸出を行わず、センターにたくさんある本を手に取り、読むことの楽しさや面白さを感じさせた。	1,775
地域交流	日頃から連携している自治会や地域のお店と一緒に季節の行事を実施した。(ハロウィン、勤労感謝、お茶会) 3月のお茶会では、日本の伝統文化に触れてほしい思いから毎年実施している。(今年で4年目) お世話になっている自治会長や地域の方も招待し、子ども達との交流し、こども達も地域の方も楽しみにしている行事となっている。	200
合計		18,329

6 指定管理者の分析(サービス向上の取組等)

(全体を通して)子ども達が安全に楽しく過ごし、無事に指定管理4年目を終えることができたことを何より嬉しく振り返ると共に、若草地域の特性を実感を持って理解し、コロナ禍対策も必要なく、活発な活動ができた1年だったと振り返る。

小学校から遠く、多子世帯もおおい地域でもあり幅広い年齢の児童が利用。、市内で一番歴史の長いセンターであるため、継続的に自主点検、保守、修繕等をしっかり行い、安全で安心な運営を維持発展できるようチーム一丸となり尽力した1年だった。

(木育事業)

通常の利用からは情緒安定のエビデンスを取るなど、事業を深掘りしながら今後も継続し実施する計画。

そのほか、木育・木のおもちゃを目当てに浦添市ファミリーサポーターの利用があり、有意義な施設活用が広がっている。(任せて会員とお願い会員が、若草児童センターで待ち合わせてサポートを依頼)。新たな子育て支援として、育ちの役に立つおもちゃの活用の裾野を広げたい計画

(子ども食堂)食事支援が必要な家庭に、お弁当(土曜の昼食)や物資の配布の連携ができており、支援家庭からも多くの感謝が伝えられている。てだこ未来応援員、保護課やSSWとも連携している。また食堂活動を周知したことで、地域企業から月1回の弁当寄付の支援をいただけるようになり、育成支援の食育として深く広く活動を続けていく。(ユニゾンハーツの設立、沖縄県子どもの居場所応援金事業等活用、沖縄県子どもの居場所ネットワークへも加入)

(命を学ぶ)現代は家庭で難しいと言われる動物の飼育からは、健康状態、食事・トイレの世話、仲間意識、タッチセラピー的効果などを狙いに、安全・衛生面に配慮しながら生き物に目をかけることで、他ではできない命の教育をしている。生き物に触れ、気持ちにゆとりや優しさが見られる様になっている。

(図書の日活動)

デジタル化が進む中、紙の本に触れ、ゆっくり座り読み進めることで集中力を高めるねらいもあり、3センター共通で実施中。子どもたちに浸透してきている。日々の活動に変化を持たせることで、子ども達からいろいろなアイデアがでてきて、同じセンターでもいつもと違う1日を楽しめている。

(その他)日常より、施設が明るく利用しやすく、安全に使えるよう、気にかけて運営している。老朽化が顕著な施設であるため、軽微な修善は日々行いながら、定期的に修繕を確認・判断している。引き続き自主管理を積極的に行うことで、施設そのものの魅力を陳腐化させないよう弊社管理ならではの強みを生かし、頑張ってます。

7 項目別評価表

市評価年月日 令和7年4月24日

指定管理者と市が評価する。(4:優良 3:適正 2課題含 1要改善)

施設の状況により、項目内容は変更する場合がありますが、25項目数は変更しない。

項目	維持管理に関すること(年2回以上) 【適正性】	自主評価	市評価
①	法令等を遵守しているか。	4	3.7
②	労働環境は適正か。	4	3.7
③	収入・支出の取扱は適正か。	4	3.7
④	年間事業計画のとおり業務を遂行しているか。	4	4.0
⑤	開館時間、休館等は適正か。	4	4.0
⑥	利用者の個人情報保護は適正か。	4	3.7
⑦	日常の事故防止、安全対策は適正か。	4	4.0
⑧	日常の清掃は適正か。	4	4.0
⑨	防犯・警備業務は適正か。	4	4.0
⑩	備品の管理は適正か。	4	4.0
⑪	施設の維持管理(修繕)は適正か。	4	4.0
⑫	危機管理体制(緊急時対応)は適正か。	4	4.0
⑬	施設の使用許可、使用料の減免は適正か。	4	4.0
⑭	利用者に対する接客や職員態度は適正か。	4	4.0
⑮	施設の維持管理に係る人員は適正か。	4	4.0
⑯	施設の定期保守点検は適切か。	4	4.0
16項目	小計	64	62.7

点数を記載する。

項目	経営等事務処理に関すること(年1回以上) 【効率性】	自主評価	市評価
①	適正な経理事務であるか。	4	3.7
②	省エネルギー等環境配慮に努めているか。	4	3.3
③	支出の減少を図る取組を行っているか。	4	3.0
④	職員の資質・能力の向上を図る取組をしたか。	4	3.7
4項目	小計	16	13.7
項目	【有効性】		
①	施設の設置目的が十分に達成できたか。	4	4.0
②	利用者の意見を把握するしくみが確立しているか。	4	3.3
③	協定は遵守しているか。	4	3.7
④	利用者の満足度はどうか。	4	4.0
⑤	地域のため貢献しているか。	4	4.0
5項目	小計	20	19
25項目	合計	100	95.3

8 評価基準

(前ページの25項目(年間)合計を100点満点とする。)

	評価点	評価内容
項目別評価	4	法令等を遵守し、計画された業務水準を超える指定管理者独自の取組を実施するなど、特に優れている。
	3	法令等を遵守し、適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準のとおり成果を上げている。
	2	法令等を遵守しているが、指定管理業務の一部に課題がある。
	1	法令等を遵守しておらず、改善の必要がある。又は年間を通じ計画された業務の水準を達成できなかった。

ここでの「法令等」とは、法令、条例、規則、協定書、仕様書、事業計画書等をいう。

	評価		評価内容
総合評価	A	優良	市の項目別評価がすべて3点以上、かつ90点以上である。中間評価の場合は、53点以上とする。
	B	適正	市の項目別評価がすべて3点以上、かつ75点以上90点未満である。中間評価の場合は、45点以上53点未満とする。
	C	課題含	市の項目別評価に2点が1つでもある。
	D	要改善	市の項目別評価に1点が1つでもある。

9 市の総合評価

評価	評価コメント
A	- 古さを感じさせないくらい、施設の清掃が行き届き、環境づくりに努めていた。 - 木の遊具を揃え、地域の子育て支援に貢献されている。 - 指定管理者から要望のあったとおり、大きな花壇の必要性について検討する必要があると思いました。(駐車場を確保する。)また、ファミサポの「まかせて会員」との連携が非常にいい取り組みだと思いました。